

# 迦陵園だより

2025(令和7)年8月発行  
 社会福祉法人 迦 陵 園  
 (児童養護施設)  
 〒606-0802  
 京都市左京区下鴨宮崎町109  
 TEL (075)701-0250  
 H P <http://karyouen.or.jp>  
 発行人 社会福祉法人迦陵園  
 編集 迦陵園 広報担当

**養育理念** 子どもの心に寄り添い安全で安心な生活を保障する。

**基本方針**

- ▶ **権利擁護** 子どもたちがひとりの人間として尊重され、自己実現を目指していけるよう支援する。
- ▶ **アタッチメントの形成** 大人との関係の中で安心感を育み、子どもが健やかに成長できるよう支援する。
- ▶ **地域福祉への貢献** 児童福祉で培った知識や経験を積極的に地域へ還元する。

理事長 廣 啓 司

当迦陵園の末し方を回顧して、しみじみと思うことは、その当初から耳鼻咽喉科専門の加藤幹夫医師が児童育成上の必要なことを直接職員にも教示して日々の健康維持に当たっていて下さったということでした。

寒い冬でも、賀茂川の堤防を走らせ、夏休みの期には、川堰を落ちる水に身体を打たせて鍛錬させながら、戯れ遊ぶ面白さを体験させるなどをさせていたことが記録に残っています。

また、子どもたちに川石の中から昆虫の型や、滝に見える物を探させて施設の玄関に飾り、各々名称をつけていたことも、加藤医師は好んでさせていたようでした。

それらはみな、元々生物や鉱石に関心を持っていた加藤医師の態度の延長だと言ってしまえば、それまでのことですが、児童施設を運営する専門家の立場としては、児童に興味を湧かせる手段を考えた上で、各職員が現在持っている趣味と関係させて試み、その成果を評価することに通じていると言えましょう。

かの有名なヘレン・ケラーが、三重障害の身を克服したのも、彼女を指導した家庭教師サリバンの、時には農園の動物を利用して実感させる、あるいはヘレン・ケラーの家族全員に協力を求めて成果を考えたことに通じており、私もそのことを考えながら、職員が日々全体会議を通じて方針を検討されている姿を嬉しく拝見している状態です。

この迦陵園が実質上発足したのが第二次世界大戦

の直後。大きな都市はみんな焼かれた焼の原になっていた時、それまで陸軍病院で傷夷軍人の耳鼻咽喉の治療をしていた若い加藤幹夫医師が創意した特殊治療法が効を奏し、各地から先生を求めて三重県津市の診療所に押し寄せるまでに知れ渡ったのでした。

その成果の学界報告を聞いて注目した京都大学医学部が、先生を副手に任命して京都に定住することを勧めたことで、以来先生は京都にて開業と京大副手の立場を兼務しながら、笹川京大教授の「突然変異の研究」をお手伝いし、立派な論文(全12巻)を完成させ、その実績を基点としてカナダの大学医学部に留学。准教授となって日本に帰ってこられました。

そして、専門の耳鼻咽喉の治療に励む中、かのヘレン・ケラーも、国から推薦された医院として、加藤医院を見学することとなり、今やその名は世界的に注目されるまでになっていたのです。

しかし、その加藤幹夫先生も、年齢と病気には勝てませんでした。最晩年には、脳神経の病気に犯され、大原記念病院にてお亡くなりになりました。また悲運が重なり、妻の美子様もその1年後に立派な歴史をもつ加藤家を社会福祉法人迦陵園に寄贈される遺言を残して黄泉へ旅立つこととなりました。

私たちは今その加藤家の末し方の上に、社会福祉業務に専念していることを忘れてはならないのであります。



2024年度 卒業卒園お祝い会



卒園	1名
小学校卒業	1名
中学校卒業	3名
高校卒業	4名
退職	1名
卒業・卒園・退職おめでとう!	



お祝いメニュー



歌やダンスでお祝い



クリスマスパーティ・フロア旅行・お花見・イルミネーションなどなど  
いっぱい思い出が出来たね！

## 迦陵園にて勤続年数20年と10年を迎えた 職員のお二人にお話を伺いました！

子どもたちにとって食事は心と体の成長を支える大切なもの。安心・安全で栄養バランスのとれた食事を届けること。そして、日々の食事を通して「食文化」を育んでもらえるよう心がけてきました。また、食事は単なる栄養を摂るだけではなく、子どもたちにとって日々の楽しみであって欲しいと考え、季節の行事や特別な日のメニューには工夫を凝らし、子どもたちが笑顔になれるように心を込めて日々調理をしています。

昨年からは、子どもたちの居住する棟に調理場と食堂が移設され、生活空間と近い「ダイニングキッチン」のような形になりました。以前と比べると全体的に狭くなりましたが、調理中の音や香りが子どもたちの生活空間に届くようになり、「今日のごはんは

何？」「いい匂いする～」「何を作ってるの？」と声をかけてくれる場面が増えました。料理が出来上がっていく様子を近くで感じられるようになり、子どもたちが食をより身近に感じられ、楽しんでくれるようになったと感じています。

これからも、調理師としての経験を活かしながら、子どもたちにとってごはんの時間が「ほっとできる」「楽しい」と思えるようなあたたかな思い出となるように努めてまいります。毎日の小さな積み重ねが、子どもたちの中に豊かな食の感性や文化を育むと信じ、そしていつか、やさしい「食の記憶」として子どもたちの心に残ってくれたら嬉しいです。これからも、一食一食を大切にしていきたいと思えます。

調理師 きたむら (20年勤続)

「それが正解かは10年後に分かる」誰かが言った。そんなことを思いながら、いつも進路の選択には頭を抱える。子ども的一生を左右する大事な決断に、親ではない私が意見を言う。学校との懇談や進路説明会に参加し、子どもと相談し、保護者や児童相談所のケースワーカーともやり取りをして時間をかけて決めていく。家庭復帰か自立か、進学か就職か、本人の希望、保護者の想い、そして突きつけられる現実。職員がそれぞれ自身の経験や知識の元、子どもと様々な話をするがいつも子どもの意向に沿うとは限らない。時には意に沿えない事も言わなければならない。自分の人生ではないから真剣に考えてくれない、責任がないから言えるのだと言われることもしばしばある。

園にいる時はどれだけ失敗しても助けられるが、園を出ればすべてが自分に降りかかる。だからこそ私たちが見据えなければいけないのはこの先も続く長い人生であり、卒園すればおしまいではなく子どもたちのスタートラインが卒園なのである。「自立に向けてと私たちはよく口にしますが、この自立は一体何をさすのか。」ある福祉機関の方に言われたことがずっと心に残っている。

「一人で生活できるはまだ80点、困った時に人に助けを求めることが出来たら100点」

色々な自立の考えがある中で私にはこれが一番しっくりきた。ここ数年で給付型の奨学金や生活支援金を頂ける機会が増えた。お金はもちろん大切だがそれだけでは自立とは言えず、途中でリタイアした時に誰が本人を助けてくれるのかが一番不安である。だからこそ人との繋がりも同じくらい大切な事だと思っている。園の職員はもちろんの事、家族や友人、関係機関もある。また迦陵園には京都中小企業家同友会のみなさんのご協力もある。普段は気付かなくとも、気にしてくれる人や困った時に声をあげれば助けてくれる人がいる事が、きっとどこかで強みになると思っている。

12年間働いてきて、たくさんの子どもの卒園に立ち会った。未だに正解が分からない子も大勢いるが今も頑張っている子を見ると、間違っていなかったのだと安堵する。10年後にみんなが笑顔になって欲しいと願いながら、子どもたちの最善を思い支援し続けていきたいと思う。

ケアワーカー まつよし (10年勤続)

●●● 新規採用職員のご案内 ●●●

4月から新しく入職しました。子どもたちに寄り添える先輩方のようなステキなケアワーカーになれるよう、頑張っていこうと思います。  
これからもよろしくお願いします。



ケアワーカー よねざわ

●●● 児童自立生活援助事業Ⅱ型『TAB<sup>タブ</sup>からびんか』がスタートしました！ ●●●

2024年4月に改正児童福祉法が施行されました。社会的養護出身者への自立支援の強化を図るべく、児童自立生活援助事業に新たな支援制度が加わり、この度、社会福祉法人迦陵園としまして、児童自立生活援助事業Ⅱ型『TAB<sup>タブ</sup>からびんか』を2024年12月からスタートいたしました。

名前の由来は、施設に付帯する機能として「TAB（タブ）」とし、その意味においては、Transition（状態や段階の滑らかな“移行”を）/ Assist（手助け・“支援”する）/ Base（基盤・壘）となる目的を表し、当法人名の由来にもなりました「迦陵頻伽（か

らびんか）」の慈愛の精神を添えたものです。子どもが20歳を迎えると少し前までは、家庭に戻るか、自立生活を頑張るかの選択肢しかありませんでしたが、児童相談所等の関係機関と本人が十分に話し合った上で、引き続き支援が受けられることで、子どもとしても安心して生活ができるようになりました。

迦陵園では、児童養護施設内に新たな事業を展開することが難しい為、少し離れた場所にてマンションの1室を法人契約し、現在では児童養護施設迦陵園を20歳にて退所した1人の子どもが、本格的な自立生活に向けた一人暮らしを行っています。

●●● つどいの広場こがものご案内 ●●●

3月より、修学院駅前にて出張ひろばを月に1回実施しています。

本館（迦陵園）でのつどいの広場は、数多くのご利用者さんにご利用いただいておりますが、出張ひろばでも数多くのご利用者さんがご利用して下さるよう、スタッフ一同頑張っています！！



開所日：月・火・水・金・土（休館日：木・日・祝祭日・年末年始）  
 時間：10：00～16：00  
 対象：就学前のお子さんと保護者、プレママさんなど  
 利用料：無料  
 予約方法：電話 [075-701-0292](tel:075-701-0292)  
 メール [tsudoi-kogamo@karyouen.ne.jp](mailto:tsudoi-kogamo@karyouen.ne.jp)  
 ※当日のご予約は電話にてお願いいたします。



●2024 年度決算のご報告

法人単位貸借対照表  
2025年 3月31日現在

(単位: 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	100,076,284	127,400,957	△27,324,673	流 動 負 債	21,947,658	59,825,765	△37,878,107
普 通 預 金	59,866,452	52,399,340	7,467,112	事 業 未 払 金	7,267,812	46,025,970	△38,758,158
預 け 金 ( 電 子 マネー)	56,376	71,204	△14,828	未 払 費 用	1,510,000	1,400,000	110,000
事 業 未 収 金	37,485,285	71,955,536	△34,470,251	職 員 預 り 金	2,957,576	3,294,795	△337,219
前 払 金	1,947,671	2,406,377	△458,706	前 受 収 益	7,270	0	7,270
そ の 他 の 流 動 資 産	720,500	568,500	152,000	仮 受 金	5,000	5,000	0
固 定 資 産	424,839,357	424,346,769	492,588	賞 与 引 当 金	10,200,000	9,100,000	1,100,000
基 本 財 産	159,768,231	163,353,464	△3,585,233	負 債 の 部 合 計	21,947,658	59,825,765	△37,878,107
士 地	128,818,800	128,818,800	0	純 資 産 の 部			
建 物	30,949,431	34,534,664	△3,585,233	基 本 金	159,009,816	159,009,816	0
そ の 他 の 固 定 資 産	265,071,126	260,993,305	4,077,821	基 本 金	159,009,816	159,009,816	0
建 物	42,750,166	42,649,123	101,043	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	44,381,516	41,822,924	2,558,592
構 築 物	7,276,778	320,540	6,956,238	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	44,381,516	41,822,924	2,558,592
車 輛 運 搬 具	1,813,189	2,860,279	△1,047,090	そ の 他 の 積 立 金	203,063,712	203,047,152	16,560
器 具 及 び 備 品	10,167,281	12,116,211	△1,948,930	人 件 費 積 立 金	51,431,420	51,430,391	1,029
人 件 費 積 立 資 産	51,431,420	51,430,391	1,029	施 設 整 備 等 積 立 金	151,632,292	151,616,761	15,531
施 設 整 備 等 積 立 資 産	151,632,292	151,616,761	15,531	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	96,512,939	88,042,069	8,470,870
				次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 ( うち 当 期 活 動 増 減 差 額 )	8,487,430	26,432,512	△17,945,082
				純 資 産 の 部 合 計	502,967,983	491,921,961	11,046,022
資 産 の 部 合 計	524,915,641	551,747,726	△26,832,085	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	524,915,641	551,747,726	△26,832,085

法人単位事業活動計算書  
(自) 2024年 4月 1日 (至) 2025年 3月 31日

(単位: 円)

勘 定 科 目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 益			
	児童福祉事業収益	271,244,277	253,750,083	17,494,194
	保育事業収益	7,113,000	5,391,000	1,722,000
	経常経費寄附金収益	4,873,559	5,188,275	△314,716
	サービス活動収益計(1)	283,230,836	264,329,358	18,901,478
	費 用			
	人件費	205,285,648	171,639,173	33,646,475
	事業費	42,766,679	42,267,784	498,895
	事務費	23,411,497	21,695,810	1,715,687
	減価償却費	9,849,737	7,863,778	1,985,959
国庫補助金等特別積立金取崩額	△6,194,774	△5,302,376	△892,398	
サービス活動費用計(2)	275,118,787	238,164,169	36,954,618	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	8,112,049	26,165,189	△18,053,140	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収 益			
	受取利息配当金収益	51,297	21,800	29,497
	その他のサービス活動外収益	1,995,165	1,913,046	82,119
	サービス活動外収益計(4)	2,046,462	1,934,846	111,616
	費 用			
	その他のサービス活動外費用	1,671,080	1,527,520	143,560
サービス活動外費用計(5)	1,671,080	1,527,520	143,560	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	375,382	407,326	△31,944	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	8,487,431	26,572,515	△18,085,084	
特 別 増 減 の 部	収 益			
	施設整備等補助金収益	8,753,366	20,000,000	△11,246,634
	特別収益計(8)	8,753,366	20,000,000	△11,246,634
	費 用			
	固定資産売却損・処分損	1	3	△2
国庫補助金等特別積立金積立額	8,753,366	20,140,000	△11,386,634	
特別費用計(9)	8,753,367	20,140,003	△11,386,636	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△1	△140,003	140,002	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,487,430	26,432,512	△17,945,082	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	88,042,069	61,614,457	26,427,612
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	96,529,499	88,046,969	8,482,530
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	30,014,234	△30,014,234
	その他の積立金積立額(16)	16,560	30,019,134	△30,002,574
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	96,512,939	88,042,069	8,470,870

● ● ● ご招待の御礼 ● ● ●

この度、迦陵園の子どもたちに、長年に亘りご支援くださっている方から『びわ湖の春 音楽祭』へご招待くださりました。

参加させていただきました子どもからは、今までにない体験を味わえたようで、とても楽しめたようです。帰り道でも余韻が冷めない状態でした。

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。



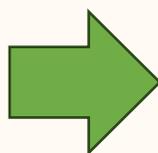
● ● ● 助成事業完了のご報告と御礼 ● ● ●

この度、公益財団法人稲盛福祉財団様よりご助成いただき、迦陵園の園庭において外構リフォームを実施いたしました。過去数十年、迦陵園は下記左写真のように、園庭との間にブロック塀にて隔たりがありました。子どもたちが自転車を停めるにも一苦労でした。

今回、リフォームを実施し、ブロック塀を撤去。開放感のある園庭と変わり、下記右写真のようにカーポートを増設し自転車も停めやすくなりました。子どもたちからも好評です。誠にありがとうございました。



【Before】



【After】

● ● ● ご支援の御礼 ● ● ●

近年、お米不足が問題になり価格も高騰する中ではありますが、子どもたちの為に30年以上、毎月お米をご支援してくださった方が、ご都合によりご支援を終えることになりました。長年もの間、ご支援いただきましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。





## ご支援心から感謝申し上げます。

(2024年8月～2025年6月／敬称略、順不同)

### 【ご寄付】

京都環境事業協同組合、佐々木真一郎、株式会社有喜屋、淀義明、株式会社開啓、株式会社キタケン、株式会社エリッツホールディングス、第12回エリッツホールディングスチャリティーゴルフコンペ、大森あゆみ、櫻井佳世子、小畑秀平、中野陽子、公益財団法人日本児童養護施設財団、永塩多津子、下鴨学区社会福祉協議会、下鴨学区民生児童委員協議会、岸本直子、松久宗琳佛所、テクハン株式会社、洛南高等学校生徒会・附属中学校生徒会、NPO法人ENDEAVOR EVOLUTION、大西みち子、西脇芳子、小林宏史、京滋お部屋探しネット

### 【ご寄贈】

新多良子、武藤康司、株式会社いちなん、株式会社わかさ生活、京都中小企業家同友会、三宅、和田寛鏡、塚本宏子、森下徹、グリーンプロジェクト、来家恵美子、石田賀奈子、株式会社朱常分店、株式会社チュチュアンナ、株式会社フレーベル館、公益財団法人栗和田福祉財団、谷口仁美、滝川俊子、伏見稲荷大社、平安神宮全国銘菓献饌奉賛会、日本新薬株式会社、全国シャンメリー協同組合、岡里栄子、京都青果協会、日本鏡餅組合、京都市食肉青年会、小畑秀平、24時間テレビチャリティー委員会、永井佐和くりもと、日本出版クラブ、医療法人社団洛和会、井上八千代、ザ・リッツ・カールトン京都、坂本一枝、公益財団法人京都新聞社会福祉事業団、NPO法人ピースプロジェクト、京都洛中ロータリークラブ、伊藤晴美、株式会社サンリオ、株式会社有喜屋、佐藤隆善・幸枝、株式会社大丸松坂屋百貨店大丸京都店美鈴サンタ事務局、岡部奨平、株式会社ドミノ・ピザ・ジャパン、株式会社コンセプト、三嶋一枝、株式会社山生、株式会社アスタラ、同志社女子中学校・高等学校、神谷潔、田中由佳、宇高節子、小林理有限会社谷口製麺所、川並淳子、京都豆菓子共同組合、磯じまん株式会社、橋本食糧工業株式会社、伊藤食品株式会社、福井缶詰株式会社、ベル食品工業株式会社、丸大食品株式会社、石田缶詰株式会社、はごろもフーズ株式会社、寿高原食品株式会社、ヤマモリ株式会社、株式会社えひめ飲料、三育フーズ、静岡ミツウロコフーズ株式会社、大橋亭本店、山田ともみ、有限会社クロス、ヨシオカハルコ、公益財団法人那須記念財団、株式会社Daska&Desiree、中尾、高橋由起子、株式会社五力、福井勇人・リーナ、日本テラワード仏教協会、スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社、大森あゆみ、大西みち子、戸田真佐代

### 【行事のご招待等】

京都市文化芸術都市推進室、株式会社京都パープルサンガ、楊正武、京都鴨川ライオンズクラブ、藤田めぐみ、伏見稲荷大社、公益財団法人オリックス宮内財団、京都さくらロータリークラブ、やっさん一座はるる、宇田節子、京都中小企業家同友会（就労体験）、シマダデンタルクリニック（歯科矯正）

### 【ご助成】

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団、NHK歳末たすけあい、一般財団法人篠原欣子記念財団、公益財団法人稲盛福祉財団

